

## 平成27年度定期監査（出先機関及び施設）結果報告書

### 1 監査の種類

地方自治法第199条第4項の規定による定期監査

### 2 監査の実施期間

平成27年10月27日から11月12日まで（延12日間）

### 3 監査の対象とした機関又は施設及び日程

期 日	曜日	午前	出 先 機 関 等 名
		午後	
10月27日	火	午前	宮川第二保育園 宮川保育園 みどりヶ丘保育園
		午後	ベルビア出張所 CHUKO らんどチノチノ こども館0123広場
10月28日	水	午前	消防課 スポーツ健康課
		午後	米沢保育園 米沢地区コミュニティセンター
10月29日	木	午前	中央保育園 発達支援センター・やまびこ園 美サイクルセンター
		午後	家庭教育センター ちの地区コミュニティセンター ちの保育園
10月30日	金	午前	中大塩保育園 中大塩地区コミュニティセンター
		午後	図書館 長峰中学校
11月2日	月	午前	金沢保育園 金沢地区コミュニティセンター 金沢小学校
		午後	永明小学校 永明中学校
11月4日	水	午前	千駄刈自然学校
		午後	北部保健福祉サービスセンター 北山保育園
11月5日	木	午前	北山小学校 北部中学校 北山地区コミュニティセンター
		午後	笹原保育園 湖東保育園 湖東地区コミュニティセンター
11月6日	金	午前	小泉保育園 玉川地区コミュニティセンター 豊平小学校
		午後	豊平地区コミュニティセンター 東部中学校 東部保健福祉サービスセンター
11月9日	月	午前	玉川保育園 玉川小学校
		午後	米沢小学校 湖東小学校 豊平保育園
11月10日	火	午前	泉野保育園 泉野小学校 泉野地区コミュニティセンター
		午後	
11月11日	水	午前	尖石縄文考古館 青少年自然の森 八ヶ岳総合博物館
		午後	西部保健福祉サービスセンター リバーサイドクリニック
11月12日	木	午前	宮川小学校 公民館 宮川地区コミュニティセンター
		午後	神長官守矢史料館 中部保健福祉サービスセンター

#### 4 監査の対象とした事項及び範囲

平成27年4月1日から9月30日までの間における財務に関する事務の執行及び業務の管理状況

#### 5 監査の方法

監査は、あらかじめ指定して提出された資料に基づき、出先機関又は施設の長及び職員の説明を受け、内容を把握するとともに関係帳簿の精査を行い、疑義がある事項については説明を求める方法によって行いました。

予算の執行及び事務の執行については、公金等の取扱、購入物品の検収、備品と台帳の確認、工事及び委託業務の手続きが確実に行われているか、消耗品費、燃料費、光熱水費については、節減のために意を用いているか等に重点をおきました。

特に、保育料及び学校給食費の徴収、未収金対策並びに現金取扱簿、物品取扱簿、税外収入整理簿等を含めた公金管理チェックシートの処理状況について聴取と確認をしました。

また、前回の定期監査で注意又は指摘した事項について、改善がされているかについても留意して監査しました。

#### 6 監査の結果

各出先機関、施設とも、厳しい財政事情の中で限られた予算を効率的に運用して経費節減に努めており、事務事業は適正に執行されているものと認めました。なお、次の事項について、引き続き適正な事務事業の執行に努められるよう望むものです。

- (1) 公金等の取扱いについては、不正取扱いの防止対策として作成された「公金等取扱標準マニュアル」に基づく、公金等管理チェックシートによる事務処理がうまく機能していない施設も見受けられます。所管部署から再度周知すると共に日常のチェック体制を徹底し、適正な事務処理に努めること。

また、各出先機関の事務処理など単独職員の配属には、経験者の配置に留意していただき、職員が交代する時は、引継ぎ等適切に行うようにしてください。

- (2) 保育料、学校給食費等の未収金の回収については、それぞれの担当者が、大変なご苦労いただいておりますが、未納者が特定されている傾向にあり、過年度分は収納率が著しく低下することから、特に現年度における回収に力を注いでいただき、過年度へ繰り越されないよう引き続き努力いただくよう要望します。

- (3) 小中学校での学年費、給食費や旅行積立金等の集金管理については、学校の規模や集金の方法が違ってはいますが、帳簿等の管理においては、統一的な書式による記載をし、通帳と照合しやすいものであることが望ましい。

- (4) 幼保小連携教育に対する取り組みの成果が、実態的に感じられるようになって来ました。その成果が「幼保小連携教育」の実践本にまとめられ発行されることは、一つの大きなステップであり、成果であると思われま。

茅野市の目指すこども教育の方針の更なるレベルアップと、定着の節目として位置づけるとともに、中身の充実に一層取り組まれることを期待します。

さらに、外に向けても茅野市の人づくりの柱としてアピールされることを期待します。

- (5) 新たな備品台帳への移行から6年が経過し、備品台帳の事務処理も定着してきていると感じています。今後も備品と備品台帳との照合を定期的実施し、備品の管理が適正に実施されるよう努められたい。
- (6) 各種補助金、助成金等については、金額の多寡に係わらず補助金等を交付した団体から報告書及び決算書等の提出を求め、用途については補助等の目的に合致したものかについて確認を行うこと。補助金等についてはできる限り、定額の団体補助から活動実績に基づく事業費補助へ移行することを検討されたい。
- (7) 各施設の老朽化に伴う維持修繕費は、初期の段階で点検等を実施して、早期の補修等を実施することにより、施設を長期にわたって使用できるよう努めることを一層期待します。  
各出先機関等の施設については、老朽化が進んでいる建物等も数多くあり、施設の管理については担当課で個々に対応を進めています。公共施設等総合計画により速やかな対応を要望します。特に、危険箇所等については、早期に対応いただき、大きな事故につながらないようにつとめていただきたい。
- (8) 保育園や小中学校においても、アレルギーの子どもたちが大変増えてきています。資料提供によると、保育園では市内保育園17園で62人、全園児数の3.7%で内アナフィラキシーの数は2人、小学校全9校で101人、児童数の3.22%で内アナフィラキシーの数は19名、中学校4校で61人、生徒数の3.69%で内アナフィラキシーの数は31人でした。保育園、小学校、中学校では除去食を実施しています。アナフィラキシーの対応については、細心の注意を払い、アナフィラキシー補助治療剤についても、全職員が対応できるように研修の徹底をしていただくようお願いします。

各出先機関及び施設の所見につきましては、次のとおりです。

### 小・中学校について

- 小・中学校施設整備について、各学校の建物は改築年度に相違があるものの、多くの学校の建物及び施設に老朽化の進行がみられ、今年度も老朽化による改修、修繕工事が多くみられます。体育館非構造部材耐震化工事も合わせて、9月末までに155,128千円余の工事が行われています

引き続き、各学校の緊急を要する修理等については、学校教育課と打合せのうえ、特に児童・生徒の安全に係わるものは早急な対応を図るようお願いします。

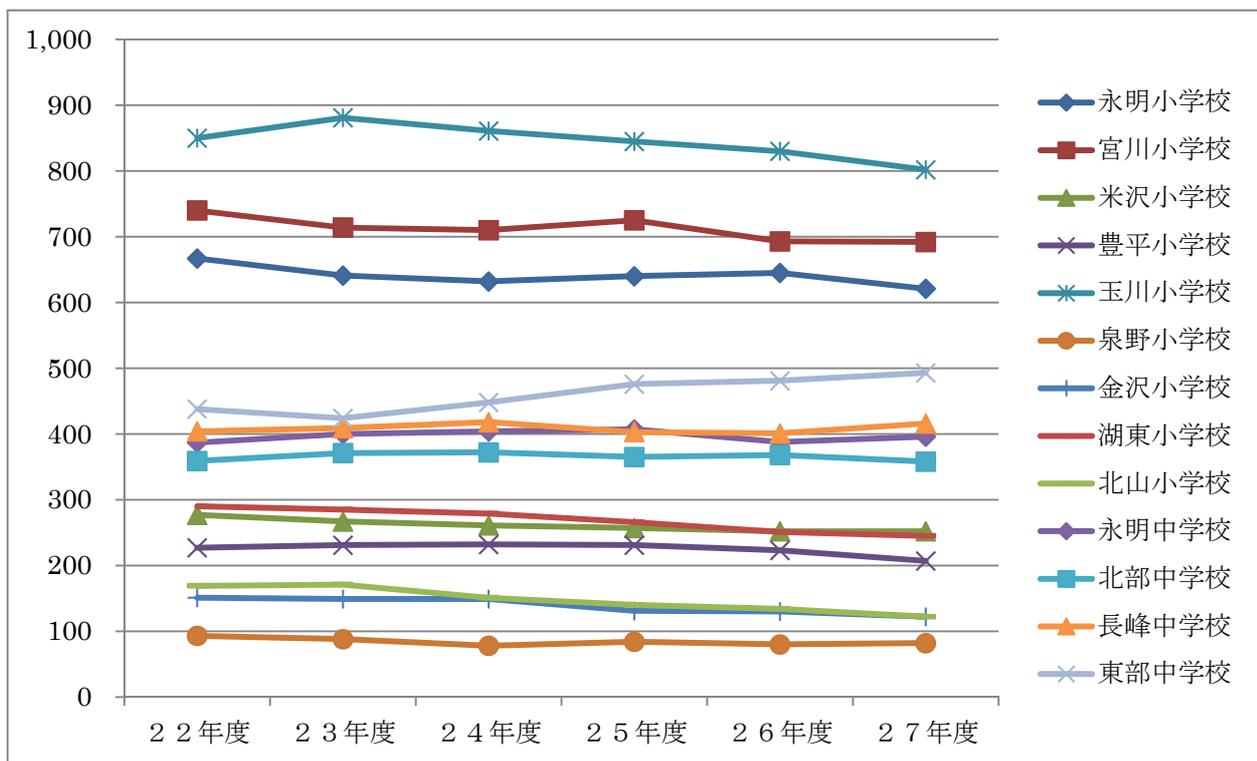
主な工事は、永明小学校、宮川小学校、玉川小学校、泉野小学校、永明中学校、北部中学校の体育館非構造部耐震化工事(72,900,000円)、やつがねホール吊り天井耐震化工事1件(39,960,000円)、永明中学校の屋根葺き替え工事(998,011円)、泉野小学校の校庭湧水処理工事(982,800円)、金沢小学校のオイルタンク改修工事(1,728,000円)給食室のエアコン設置工事が永明小学校、宮川小学校、永明中学校で総額(2,991,600円)の施工がされています。

- 児童・生徒数の推移は別表のとおりで、前年と比較して小学校では93人減少、中学校では25人が増加しておりますが、全体では68人減少しています。平成28年度の児童・生徒数は、平成27年度と比較すると、小学校が57人の減少、中学校は6人の減少が見込まれています。全体的には63人が減少し、平成29年度も89人が減少する見込となっております。
- 各学校ともに茅野市の教育方針に沿った学校運営にあたるとともに、それぞれ地域に根差した特色ある学校づくりを目指して努力をしていました。今後も引き続き特色ある学校づくりや保小連携・小中連携を一層推進されるよう期待するものです。

児 童 ・ 生 徒 数 の 推 移

(9月30日現在)

年度 学校名	23	24	25	26	27
	人	人	人	人	人
永明小学校	641	632	640	645	621
宮川小学校	714	710	725	693	692
米沢小学校	267	261	257	252	252
豊平小学校	231	232	231	223	207
玉川小学校	881	861	845	830	802
泉野小学校	88	78	84	80	82
金沢小学校	149	149	131	130	122
湖東小学校	285	279	266	251	245
北山小学校	171	151	140	134	122
小学校計	3,427	3,353	3,319	3,238	3,145
永明中学校	400	404	407	388	396
北部中学校	371	372	365	368	358
長峰中学校	409	418	403	401	416
東部中学校	424	443	476	481	493
中学校計	1,604	1,637	1,651	1,638	1,663
合 計	5,031	4,990	4,970	4,876	4,808



○ 各学校において管理している校地及び校舎等の状況は、次の表のとおりです。

昨年度に比べて増減はありません。

茅野市の教育より  
(平成27年4月1日現在)

学校名	児童又は生徒数 人	校地総面積 m <sup>2</sup>	建物等総面積 m <sup>2</sup>	学校プール	
				建設年度	m
永明小学校	621	22,041	8,388	平成2年	25
宮川小学校	692	29,322	9,243	昭和60年	25
米沢小学校	252	13,552	5,787	平成3年	25
豊平小学校	207	22,883	5,430	平成8年	25
玉川小学校	802	36,683	9,127	平成4年	25
泉野小学校	82	17,510	4,152	昭和56年	25
金沢小学校	122	19,775	5,130	平成元年	25
湖東小学校	245	15,820	5,261	平成13年	25
北山小学校	122	21,819	5,494	平成11年	25
小学校計	3,145	199,405	58,012		
永明中学校	396	39,940	7,438	平成9年	50
北部中学校	358	44,416	9,761	平成24年	25
長峰中学校	416	33,096	8,712	平成7年	25
東部中学校	493	40,884	8,089	昭和61年	50
中学校計	1,663	158,336	34,000		
合計	4,808	357,741	92,012		

## 運 営 の 状 況

- 電気・水道の利用状況について、水道料は昨年同期に比べて2,070,236円減少しています。電気料は電気料金の値上げはしていますが、昨年に比べ716,069円減少しています。電気使用量は全体で42,098kw減少と節電の努力が認められます。電気料については引き続き使用料の節減等、効果的な運営に意を用いるようお願いするものです。

水道の漏水対策については、早期の発見と改修等に対応するため、前年または前月並びに他校との比較をするなどして、常に状況の把握に努め、漏水が確認できた場合には、早急に対応を検討して実施するよう努めるようお願いするものです。
- 学校安全対策、交通安全対策等については、各校ごとに実情に応じた取り組みがなされ「連絡メールサービス」の配信を導入されている学校があり、携帯電話等の受信対応ができない保護者には、プリント配布等で情報提供しています。なお、近隣校と情報交換をするなど連携を密にして、なお一層の配慮に努め、万全を期すようお願いします。

特に、防災、不審者対策については、PTA、地域住民や地区コミュニティー団体等と連携と協力を深めながら万全を期されるようお願いします。

「安心安全の家」の表示旗と指定場所の周知については、茅野警察署と学校PTA（校外指導部）等の連絡のなかで実施されていますが、全体的に形骸化している。再度、全市一斉に各学校単位で現況を確認し、再構築される必要があると感じます。
- 学校給食の運営には、学校の責任と判断によって執行されていますが、次の点について引続き留意いただくよう努めてください。
  - ① 賄材料の納品の際には品質及び数量等を確実に検収し、賄材料費の支払は早期に支払いを行なっていただくようお願いします。
  - ② 給食材料は特別なものを除いて、市内業者から購入するよう努め、地産地消についても引続き検討し推進してください。
  - ③ 給食費の未収金については回収に努力されており、ほとんどの学校が年度内に完納となっていますが、月々の未収金は早めの対応に心掛け、年度内の回収に努めること。個別の状況によっては、支援の必要性も考えられるので、きめ細やかな対応を心掛けるようお願いします。
- 学校規模等により学年費、修学旅行費の集金の方法は異なりますが、出来るだけ現金の取扱いを最小限にし、適正な管理に引き続き努めていただきたい。
- PTA の廃品回収、ベルマーク等の収益費について、物品として寄贈されている学校やPTA 会計のなかで、事業等に用途されている場合等がありますが、いずれも、会計簿又は寄贈台帳等に記載する等用途を明確にされたい。
- 職員の異動の際には、引き継ぎを十分行い異動後の事務処理に支障をきたさないようしていただくとともに担当課での指導をお願いします。
- 学校施設開放について、施設の賃借に関しては、学校側が委託を受けて貸し出し業務は行っているが、現状として学校側が管理まで行っている状況があると聞いています。関係部署の一元管理ができるよう徹底していただきたい。やつがねホール等の併設施設についても、学校の休校日での職員の対応が必要とされるなどもあり、マニュアルの徹底等について、今一度見直しスムーズな対応ができるよう配慮をお願いします。

学校給食費会計

(9月30日現在)

学校名	収入額	支出額	未収金	
			件数	金額
	千円	千円	件	円
永明小学校	19,845	15,716	29	162,000
宮川小学校	20,898	16,026	41	237,800
米沢小学校	8,654	6,182	18	95,400
豊平小学校	6,884	5,289	9	53,730
玉川小学校	25,252	18,541	59	340,245
泉野小学校	2,853	2,271	4	23,600
金沢小学校	4,582	3,051	6	33,600
湖東小学校	9,712	6,250	22	131,340
北山小学校	4,465	3,298	2	10,800
小学校計	103,127	76,624	188	1,088,515
永明中学校	14,823	11,797	30	210,584
北部中学校	13,649	10,283	43	401,030
長峰中学校	14,989	12,556	58	394,400
東部中学校	18,127	14,254	23	473,785
中学校計	61,588	48,890	154	1,479,799
合計	164,715	125,514	342	2,568,314

※ 件数は延べ人数

学校給食費の未収金について前年度の同時期と比較して、合計では件数で69件、金額では118,083円の減少となっておりますが、各校とも年度末には、解消されるよう取り組みをしていますので、回収努力に期待します。

過年度分の未収金については、今年度、該当の学校はありませんでした。

(参考資料)

## 各小・中学校 水道料、電気料 (4月～9月)

単位：円

学校名	児童・生徒数 (人)	水 道 料				
		27年度	26年度	増 減	月平均	1人当たり
永明小学校	621	862,753	1,453,285	△590,532	143,792	1,389
宮川小学校	692	1,509,964	1,567,644	△57,680	251,661	2,182
米沢小学校	252	772,066	829,493	△57,427	128,678	3,064
豊平小学校	207	658,547	584,560	73,987	109,758	3,181
玉川小学校	802	1,915,148	2,204,282	△289,134	319,191	2,388
泉野小学校	82	474,203	527,082	△52,879	79,034	5,783
金沢小学校	122	762,414	904,802	△142,388	127,069	6,249
湖東小学校	245	1,270,597	1,555,686	△285,089	211,766	5,186
北山小学校	122	773,515	774,497	△982	128,919	6,340
小学校計	3,145	8,999,207	10,401,331	△1,402,124	1,499,868	2,861
永明中学校	396	1,232,646	1,493,212	△260,566	205,441	3,113
北部中学校	358	878,132	832,594	45,538	146,355	2,453
長峰中学校	416	929,984	1,205,927	△275,943	154,997	2,236
東部中学校	493	1,239,580	1,416,721	△177,141	206,597	2,514
中学校計	1,663	4,280,342	4,948,454	△668,112	713,390	2,574
合計	4,808	13,279,549	15,349,785	△2,070,236	2,213,258	2,762

学校名	児童・生徒数 (人)	電 気 料				
		27年度	26年度	増 減	月平均	1人当たり
永明小学校	621	1,664,529	1,836,808	△172,279	277,422	2,680
宮川小学校	692	1,991,445	1,628,951	362,494	331,908	2,878
米沢小学校	252	1,139,916	1,131,086	8,830	189,986	4,523
豊平小学校	207	950,298	970,502	△20,204	158,383	4,591
玉川小学校	802	2,410,929	2,631,721	△220,792	401,822	3,006
泉野小学校	82	847,162	955,341	△108,179	141,194	10,331
金沢小学校	122	1,005,080	1,128,552	△123,472	167,513	8,238
湖東小学校	245	1,109,263	1,121,832	△12,569	184,877	4,528
北山小学校	122	985,934	962,018	23,916	164,322	8,081
小学校計	3,145	12,104,556	12,366,811	△262,255	2,017,426	3,849
永明中学校	396	1,744,738	1,941,473	△196,735	290,790	4,406
北部中学校	358	2,090,045	2,250,770	△160,725	348,341	5,838
長峰中学校	416	2,493,125	2,625,551	△132,426	415,521	5,993
東部中学校	493	1,830,913	1,794,841	36,072	305,152	3,714
中学校計	1,663	8,158,821	8,612,635	△453,814	1,359,804	4,906
合計	4,808	20,263,377	20,979,446	△716,069	3,377,230	4,215

学校名	児童・生徒数 (人)	使 用 電 力 (k w)				
		27年度	26年度	増 減	月平均	1人当たり
永明小学校	621	61,246	68,674	△7,428	10,208	99
宮川小学校	692	70,747	70,242	505	11,791	102
米沢小学校	252	36,057	42,710	△6,653	6,010	143
豊平小学校	207	32,631	31,752	879	5,439	158
玉川小学校	802	87,429	94,244	△6,815	14,572	109
泉野小学校	82	30,260	35,172	△4,912	5,043	369
金沢小学校	122	37,033	42,234	△5,201	6,172	304
湖東小学校	245	38,007	39,897	△1,890	6,335	155
北山小学校	122	37,787	35,878	1,909	6,298	310
小学校計	3,145	431,197	460,803	△29,606	71,866	137
永明中学校	396	72,126	75,573	△3,447	12,021	182
北部中学校	358	75,537	82,020	△6,483	12,590	211
長峰中学校	416	90,007	91,494	△1,487	15,001	216
東部中学校	493	61,943	63,018	△1,075	10,324	126
中学校計	1,663	299,613	312,105	△12,492	49,936	180
合計	4,808	730,810	772,908	△42,098	121,802	152

\* 太陽光発電未設置校

永明小学校、泉野小学校、金沢小学校、北山小学校、永明中学校

○ 学校教育に望むこと

- ① 保育園おける一日保育士体験への小学校の職員の参加をはじめ、小学校の職員と保育園の職員との交流が行われています。また、保育園の職員が学校の職員会に参加するところもありました。こどもたちの健やかな成長のためにさらに保育園と小学校の繋がりが広がっていくことに期待するものです。
- ② いじめについては、幸い大きな問題になる事例はないようですが、こどもからのサインを見逃さないよう早期発見と早期対応に心掛けるとともに、地域社会が連携して、一丸となった取り組みがなされることが望まれます。いじめは当然あるとの意識を常にもつことが早期の発見に繋がります。こどもから教職員に伝えやすい環境づくりと、学校と児童生徒の家庭との良好な関係づくりに、引き続き努めていただくようお願いするものです。
- ⑤ 特別支援教育支援員の人数が毎年増えています。今年度は38人が配置されています。発達障がい等支援を必要としている児童・生徒が増加しているものと思われます。0歳から18歳までの一貫した支援の中で早めに対応されることを要望します。

発達支援センターを有効に活用いただき、専門機関からの助言と子供の発達段階におけるの支援体制と連携が一層とれることを期待します。

## 保 育 園 に つ い て

- 保育園入園児童の推移は次表のとおりであり、今年度は横内保育園が民営化になったため、公立保育園児は1,258人で前年度横内保育園を除く1,315人に比べ56人が減少しており、定員1,615人に対して、356人減少となっています。

少子化の影響で園児が減少するなかでも、気がかりであった小規模の園での伸びがあるなど、特色ある園を選択するなどの傾向もみられています。

市内の民営化保育園は、平成18年度に開園したどんぐり保育園をはじめ、平成26年度わかば保育園に続き、今年度よこうち保育園がスタートし、当初予定の3園体制となりました。それぞれ順調に運営されていますが、ここを一つの節目として、来年度は、市が目標とした保育行政の効率、経済性の向上および、保育運営の充実の視点から総検証を行い、将来に向けて市、民営保育園を含めたトータルで保育行政の更なるレベルアップにつなげて欲しいと思います。

- 全体的に未満児の割合が多くなる傾向や、障害を持つ児童の入所も年々増加する傾向にあり、障がい児との関りは保育士だけではなく、健常児との関りも大切であると感じられ、手をかける必要があります。このようなことから、引き続き、迅速で適切な職員の配置に努めていただき、発達支援センター等の連携強化に努めていただくことを望むものです。

- 保育所費負担金等の収納対策について

負担金及び使用料の収入未済額の整理は、各保育園と協力しての対応や幼児教育課職員のきめ細やかな対応で、成果が上がってきています。9月30日現在の未済額は前年度に比べて、現年度分は27件545千円、過年度分は65件930千円減少しています。平成25年度の比較時には、前年度に比べて現年度未済額が増加していたが、その後の状況では、現年度の徴収に力を入れている成果が結果に表れています。

保育園入園児の推移

(9月30日現在)

園名	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	定員
ちの保育園	人 (1) 197	人 (0) 203	人 (1) 211	人 (0) 198	人 (0) 182	人 200
宮川保育園	(0) 68	(0) 105	(0) 132	(0) 146	(1) 127	120
宮川第二保育園	(0) 17	(0) 16	(0) 28	(0) 28	(0) 39	60
玉川保育園	(1) 190	(0) 206	(0) 201	(1) 206	(0) 198	220
湖東保育園	(0) 100	(0) 92	(0) 87	(0) 76	(0) 73	130
笹原保育園	(0) 9	(0) 11	(0) 12	(0) 14	(0) 16	35
豊平保育園	(0) 85	(0) 89	(0) 89	(0) 93	(0) 88	100
北山保育園	(0) 67	(0) 73	(1) 71	(1) 65	(2) 64	100
中央保育園	(2) 74	(0) 85	(0) 92	(0) 86	(1) 83	90
米沢保育園	(0) 106	(0) 105	(0) 103	(1) 90	(1) 81	120
金沢保育園	(0) 70	(2) 63	(0) 69	(0) 56	(0) 58	100
泉野保育園	(0) 29	(0) 30	(0) 29	(0) 41	(1) 40	60
わかば保育園	(4) 166	(1) 142	(2) 111			
横内保育園	(2) 113	(0) 100	(0) 91	(0) 75		
小泉保育園	(0) 61	(0) 44	(0) 47	(0) 58	(1) 62	90
みどりヶ丘保育園	(0) 71	(0) 67	(0) 57	(0) 78	(1) 72	90
中大塩保育園	(2) 88	(0) 85	(1) 77	(1) 80	(1) 76	100
計	(12) 1,511	(3) 1,516	(7) 1,507	(4) 1,390	(9) 1,259	1,615
どんぐり保育園	204	213	211	198	193	210
わかば保育園				125	148	200
よこうち保育園					81	120
茅野聖母幼稚園	124	133	118	112	96	180

※ カッコ内は、受託児童内数

※ 下段の私立保育園と私立幼稚園については、4月1日現在の園児数

○ 各保育園の入園児童数、職員数、施設の状況は次のとおりです。

(9月30日現在)

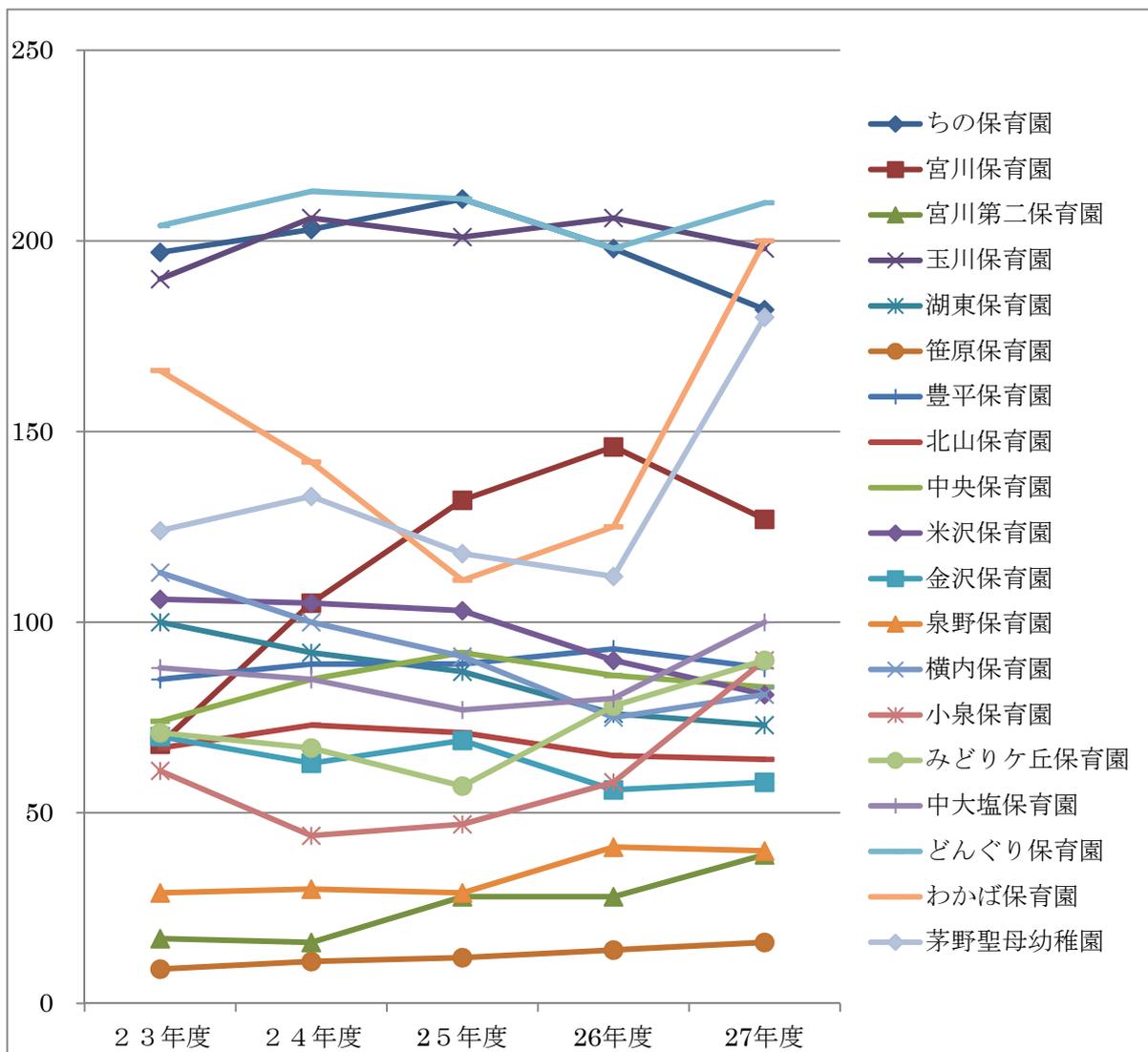
園名	園児数 (人)	職員数 (人)	敷地面積 (㎡)	園舎 (㎡)
ちの保育園	(0)	(11)	1,893.00	1,735.91
	182	24	3,499.33	
宮川保育園	(1)	(8)	0.00	1,402.24
	127	19	3,825.00	
宮川第二保育園	(0)	(4)	0.00	663.27
	39	9	1,813.56	
玉川保育園	(0)	(11)	0.00	1,377.58
	198	29	6,229.84	
湖東保育園	(0)	(6)	0.00	1,112.44
	73	10	4,673.27	
笹原保育園	(0)	(2)	0.00	387.93
	16	3	2,616.45	
豊平保育園	(0)	(6)	0.00	1,267.54
	88	9	3,743.79	
北山保育園	(2)	(5)	463.00	883.72
	64	7	3,186.96	
中央保育園	(1)	(5)	0.00	1,356.51
	82	11	2,010.00	
米沢保育園	(1)	(5)	0.00	1,074.45
	81	10	6,638.07	
金沢保育園	(0)	(5)	899.00	983.13
	58	12	3,238.60	
泉野保育園	(1)	(4)	0.00	853.20
	40	7	3,500.00	
小泉保育園	(1)	(5)	1,393.00	838.45
	62	15	2,358.77	
みどりヶ丘保育園	(1)	(5)	0.00	946.50
	72	14	4,408.04	
中大塩保育園	(1)	(5)	0.00	1,387.60
	76	11	4,246.59	
計	(9)	(97)	4,648.00	16,270.47
	1,258	190	55,988.27	

※ 園児数カッコ内は受託児童内数

※ 職員数は臨時・嘱託職員を含む（パート職員を除く）カッコ内は正規職員内数（育児休暇、産前休暇職員除く）

※ 敷地面積の上段は借地面積、下段は市有地面積（学校敷地含む）

主な敷地面積の変動は、よこうち保育園建替えによる借地面積と市有地面積の増減によるもので、横内保育園は平成27年4月1日から民営化になったため、削除しました。



- 保育所費における各保育園の歳出配当予算及び執行状況は、次の表のとおりです。  
全体の執行率は35.6%、支出済額は49,939千円で、支出の主なものは給食関係の賄材料費等です。
- 保育料の収入状況については、各園とも回収に努めており、現年度分の収納状況は98.4%となっており、前年度の同時期と比べて0.4%減少しています。

保育所費の配当予算執行状況

(9月30日現在)

園名	配当予算(千円)	支出済額(千円)	執行率(%)	予算残額(千円)
ちの保育園	18,977	6,792	35.8	12,185
宮川保育園	13,710	5,044	36.8	8,666
宮川第二保育園	6,342	2,154	34.0	4,188
玉川保育園	19,921	7,133	35.8	12,788
湖東保育園	7,995	3,039	38.0	4,956
笹原保育園	2,246	635	28.3	1,611
豊平保育園	9,033	3,134	34.7	5,899
北山保育園	7,201	2,355	32.7	4,846
中央保育園	9,831	4,077	41.5	5,754
米沢保育園	9,349	3,313	35.4	6,036
金沢保育園	7,063	2,406	34.1	4,657
泉野保育園	5,215	1,858	35.6	3,357
小泉保育園	7,743	2,844	36.7	4,899
みどりヶ丘保育園	7,742	2,550	32.9	5,192
中大塩保育園	7,710	2,605	33.8	5,105
計	140,078	49,939	35.6	90,139

○ 保育料の収納状況 (平成27年4月～9月)

(9月30日現在)

園名	調定額 (円)	収入済額 (円)	収入未済額	
			件数(件)	金額(円)
ちの保育園	22,688,100	22,238,090	20	450,010
宮川保育園	13,374,890	12,995,390	20	379,500
宮川第二保育園	4,761,250	4,691,580	4	69,670
玉川保育園	22,484,190	22,162,350	16	321,840
湖東保育園	8,695,380	8,594,760	4	100,620
笹原保育園	1,753,810	1,729,810	1	24,000
豊平保育園	10,256,790	10,241,990	2	14,800
北山保育園	6,834,250	6,616,100	13	218,150
中央保育園	9,251,340	9,214,090	2	37,250
米沢保育園	9,270,600	9,181,150	5	89,450
金沢保育園	5,822,750	5,749,500	7	73,250
泉野保育園	4,200,600	4,128,850	3	71,750
小泉保育園	6,678,710	6,507,600	8	171,110
みどりヶ丘保育園	7,223,530	7,139,130	4	84,400
中大塩保育園	9,160,610	8,978,090	8	182,520
計	142,456,800	140,168,480	117	2,288,320
どんぐり保育園	24,617,150	24,583,450	3	33,700
わかば保育園	16,900,300	16,891,750	1	8,550
よこうち保育園	10,276,050	10,276,050	0	0

○ 長時間保育料の収納状況（平成27年4月～9月）（9月30日現在）

園名	調定額 (円)	収入済額 (円)	収入未済額	
			件数(件)	金額(円)
ちの保育園	912,500	905,380	3	7,120
宮川保育園	534,700	511,190	6	23,510
宮川第二保育園	256,770	251,370	1	5,400
玉川保育園	853,710	842,910	2	10,800
湖東保育園	330,480	325,080	1	5,400
笹原保育園	149,850	149,850	0	0
豊平保育園	541,080	541,080	0	0
北山保育園	184,410	184,410	0	0
中央保育園	490,050	490,050	0	0
米沢保育園	205,200	205,200	0	0
金沢保育園	486,540	464,940	4	21,600
泉野保育園	157,680	157,680	0	0
小泉保育園	467,570	461,120	2	6,450
みどりヶ丘保育園	370,170	370,170	0	0
中大塩保育園	595,080	589,680	1	5,400
計	6,535,790	6,450,110	20	85,680

○ 保育所使用料の収納状況（平成27年4月～9月）（9月30日現在）

園名	調定額 (円)	収入済額 (円)	収入未済額	
			件数(件)	金額(円)
ちの保育園	47,100	47,100	0	0
宮川保育園	55,100	55,100	0	0
宮川第二保育園	15,700	13,900	1	1,800
玉川保育園	26,900	26,900	0	0
湖東保育園	31,100	31,100	0	0
笹原保育園	5,200	5,200	0	0
豊平保育園	44,800	44,800	0	0
北山保育園	16,400	16,400	0	0
中央保育園	22,900	22,900	0	0
米沢保育園	24,600	24,600	0	0
金沢保育園	9,100	9,100	0	0
泉野保育園	(該当なし)	—	—	—
小泉保育園	14,200	14,200	0	0
みどりヶ丘保育園	31,000	29,100	1	1,900
中大塩保育園	31,700	31,700	0	0
計	375,800	372,100	2	3,700
どんぐり保育園	(該当なし)	—	—	—
わかば保育園	(該当なし)	—	—	—
よこうち保育園	(該当なし)	—	—	—

○ 一時保育保育所使用料の収納状況（平成27年4月～9月）（9月30日現在）

園名	調定額 (円)	収入済額 (円)	収入未済額	
			件数(件)	金額(円)
ちの保育園	(該当なし)	—	—	—
宮川保育園	(該当なし)	—	—	—
宮川第二保育園	605,216	605,216	0	0
玉川保育園	(該当なし)	—	—	—
湖東保育園	(該当なし)	—	—	—
笹原保育園	(該当なし)	—	—	—
豊平保育園	(該当なし)	—	—	—
北山保育園	(該当なし)	—	—	—
中央保育園	22,900	22,900	0	0
米沢保育園	744,900	744,900	0	0
金沢保育園	(該当なし)	—	—	—
泉野保育園	(該当なし)	—	—	—
小泉保育園	821,429	821,429	0	0
みどりヶ丘保育園	(該当なし)	—	—	—
中大塩保育園	(該当なし)	—	—	—
計	2,194,445	2,194,445	0	0

○ 保育所費負担金（過年度分）の収納状況（9月30日現在）

園名	調定額 (円)	収入済額 (円)	収入未済額	
			件数(件)	金額(円)
ちの保育園	1,950,847	255,050	76	1,695,797
宮川保育園	424,300	246,800	15	177,500
宮川第二保育園	386,800	0	22	386,800
玉川保育園	2,632,598	118,559	149	2,514,039
湖東保育園	497,640	140,000	16	357,640
笹原保育園	159,690	52,300	7	107,390
豊平保育園	293,870	12,000	12	281,870
北山保育園	(該当なし)	—	—	—
中央保育園	418,024	0	10	418,024
米沢保育園	860,507	80,000	43	780,507
金沢保育園	3,022,200	120,000	136	2,902,200
泉野保育園	(該当なし)	—	—	—
小泉保育園	186,100	109,483	3	76,617
みどりヶ丘保育園	252,740	75,000	8	177,740
中大塩保育園	1,037,290	13,500	72	1,023,790
計	12,122,606	1,222,692	569	10,899,914
どんぐり保育園	370,250	35,150	17	335,100
わかば保育園	1,470,620	95,250	81	1,375,370
よこうち保育園	40,500	40,500	0	0

## ○ 長時間保育料（過年度分）の収納状況

(9月30日現在)

園名	調定額 (円)	収入済額 (円)	収入未済額	
			件数(件)	金額(円)
ちの保育園	345,600	58,200	46	287,400
宮川保育園	15,000	15,000	0	0
宮川第二保育園	(該当なし)	—	—	—
玉川保育園	129,000	15,000	22	114,000
湖東保育園	(該当なし)	—	—	—
笹原保育園	(該当なし)	—	—	—
豊平保育園	(該当なし)	—	—	—
北山保育園	(該当なし)	—	—	—
中央保育園	54,800	0	8	54,800
米沢保育園	54,000	0	11	54,000
金沢保育園	136,000	0	22	136,000
泉野保育園	(該当なし)	—	—	—
小泉保育園	15,000	10,000	1	5,000
みどりヶ丘保育園	(該当なし)	—	—	—
中大塩保育園	211,700	30,000	34	181,700
計	961,100	128,200	144	832,900

## ○ 保育所使用料（過年度分）の収納状況

(9月30日現在)

園名	調定額 (円)	収入済額 (円)	収入未済額	
			件数(件)	金額(円)
ちの保育園	(該当なし)	—	—	—
宮川保育園	(該当なし)	—	—	—
宮川第二保育園	(該当なし)	—	—	—
玉川保育園	(該当なし)	—	—	—
湖東保育園	(該当なし)	—	—	—
笹原保育園	(該当なし)	—	—	—
豊平保育園	(該当なし)	—	—	—
北山保育園	171,000	3,000	6	168,000
中央保育園	(該当なし)	—	—	—
米沢保育園	(該当なし)	—	—	—
金沢保育園	(該当なし)	—	—	—
泉野保育園	(該当なし)	—	—	—
小泉保育園	(該当なし)	—	—	—
みどりヶ丘保育園	(該当なし)	—	—	—
中大塩保育園	(該当なし)	—	—	—
計	171,000	3,000	6	168,000

○ 一時保育保育所使用料（過年度分）の収納状況

（9月30日現在）

すべての保育園で、該当がありませんでした。

○ 園当たりの水道料、電気料は次の表のとおりです。

各保育園によって格差がありますが、これは園児数の多少と園舎の広さ、施設・設備、地域事情の違いなどによるものと思われます。

各園においては水道、電気の使用状況について、前年及び前月または他の園とも比較して、水道の漏水については早期発見等、使用料の節減に努め、効率的な園運営に引き続き意を用いるようお願いするものです。

各園 水道料、電気料（4月～9月）

（単位：円）

園名	園児数 (人)	水道料				
		27年度	26年度	増減	月平均	1人当たり
ちの保育園	182	236,001	388,081	△152,080	118,001	1,192
宮川保育園	127	235,223	234,703	520	39,204	1,852
宮川第二保育園	39	143,791	203,245	△59,454	33,874	3,687
玉川保育園	198	368,582	392,295	△23,713	122,861	1,862
湖東保育園	73	100,266	189,310	△89,044	31,552	1,374
笹原保育園	16	47,416	42,580	4,836	7,903	2,963
豊平保育園	88	227,836	237,464	△9,628	37,973	2,589
北山保育園	64	154,871	145,352	9,519	24,225	2,420
中央保育園	82	224,143	206,457	17,686	34,410	2,733
米沢保育園	81	247,860	268,455	△20,595	41,310	3,060
金沢保育園	58	136,014	119,486	16,528	22,669	2,345
泉野保育園	40	114,290	113,238	1,052	3,810	2,857
小泉保育園	62	141,262	113,492	27,770	23,544	2,278
みどりヶ丘保育園	72	151,956	179,194	△27,238	25,326	2,110
中大塩保育園	76	166,746	162,273	△4,473	27,791	2,194
計	1,258	2,696,257	2,995,625	△299,368	449,376	2,143

園名	園児数 (人)	電 気 料				
		27年度	26年度	増 減	月平均	1人当たり
ちの保育園	182	782,433	770,541	11,892	130,406	4,299
宮川保育園	127	504,814	524,963	△20,149	84,136	3,975
宮川第二保育園	39	474,613	529,318	△54,705	79,103	12,170
玉川保育園	198	598,624	657,826	△59,202	109,639	3,023
湖東保育園	73	478,008	494,451	△16,443	79,668	6,548
笹原保育園	16	149,119	149,002	117	24,853	9,320
豊平保育園	88	564,805	573,875	△9,070	94,134	6,418
北山保育園	64	269,627	255,310	14,317	44,938	4,213
中央保育園	82	617,507	587,848	29,659	102,918	7,531
米沢保育園	81	352,937	360,841	△7,904	58,822	4,357
金沢保育園	58	442,105	410,485	31,620	73,684	7,622
泉野保育園	40	232,210	237,456	△5,246	38,702	5,805
小泉保育園	62	299,983	321,585	△21,602	49,997	4,838
みどりヶ丘保育園	72	530,523	530,523	0	88,420	7,368
中大塩保育園	76	354,189	280,857	73,332	59,032	4,660
計	1,258	6,651,497	6,684,881	△33,384	1,108,583	5,287

園名	園児数 (人)	使 用 電 力				
		27年度	26年度	増 減	月平均	1人当たり
ちの保育園	182	21,958	21,400	558	3,660	121
宮川保育園	127	12,440	13,212	△772	2,073	98
宮川第二保育園	39	11,606	14,122	△2,516	1,935	298
玉川保育園	198	19,308	21,057	△1,749	3,181	98
湖東保育園	73	14,748	15,688	△940	2,458	202
笹原保育園	16	3,713	3,799	△86	619	232
豊平保育園	88	16,726	18,134	△1,408	2,788	190
北山保育園	64	7,575	7,091	484	1,262	118
中央保育園	82	18,677	17,273	1,404	2,879	228
米沢保育園	81	10,512	11,101	△589	1,653	130
金沢保育園	58	13,455	12,447	1,008	2,242	232
泉野保育園	40	6,685	6,793	△108	1,114	167
小泉保育園	62	8,139	9,063	△924	1,356	131
みどりヶ丘保育園	72	11,368	14,197	△2,829	2,185	158
中大塩保育園	76	11,379	9,024	2,355	1,897	150
計	1,258	188,289	194,401	△6,112	31,381	150

※宮川第二保育園は、平成26年度は横内保育園と合同保育をしていましたが、平成27年度4月より、よこうち保育園が民営化されましたので、平成27年度の電気料金は減少しております。

○ 保育について望むこと

- ① 園内での事故防止については、職員が連携して常に設備・遊具等の安全点検を励行するとともに、不備がある場合には早急に改善を行うなど、引き続き安全管理を徹底するよう努めていただきたい。
- ② 近年は凶悪犯罪等が増えてきており、不審者の侵入対応については、各園の実情にあった安全対策等を再検討し、保護者会や地域住民などとの連携、協力を図りながら万全を期していただきたい。  
不審者侵入対策として、各保育園に緊急通報システムを導入していますが、非常時には有効に機能するよう常日頃から警察署、消防署、小・中学校、地区コミュニティセンター等との連携を図るとともに、各保育園における体制について引き続き整備に努めていただきたい。
- ③ 保育園の周辺における道路や駐車場などの状況を把握するとともに、児童の交通事故防止のための訓練及び指導は、引き続き保護者と連携を密にした取り組みをしていただくようお願いするものです。  
園周辺で道路幅が狭い道で、すぐに歩道の設置が困難な道路についてはグリーンベルトの設置について検討いただく必要があるものと思われま。
- ④ 災害発生時の対応については、保育園の立地されている場所等の状況を十分考慮したうえで、訓練等を引き続き行い万全を期すようにしていただきたい。  
また、小学校では災害時を想定した児童の引き渡し訓練を実施しており、保育園でも複数の保育園で園児の引き渡し訓練を実施されていますが、保護者に対して確実に連絡が取れるかを確認するために、引き続き年1回は実施されるよう望むものです。
- ⑤ 一日保育士体験について  
各園で多くの保護者が参加いただいておりますが、参加率が伸び悩んでいるように感じます。特に父親の参加に期待するところです。平成23年度から4年目となり参加された保護者からはたいへん好評をいただいていると伺っています。保育士体験は、子育てをする親にとっても良い勉強となり、親と子、双方が育っていくための環境提供となっています。
- ⑥ 幼保小連携による職員交流、異年齢交流、親育ちの取組は、年々効果をあげてきていると感じます。保育園ではアプローチカリキュラム、小学校ではスタートカリキュラムが始まっています。今後さらに繋げるを意識され、幼保小連携のPDCAサイクルの取組みをされることを期待します。
- ⑦ 各保育園とも、地域の方々との繋がりがあり、保育園の運営により良い環境になっていると聞いています。地域の見守りのなかで、園児の成長されていくことを望みます。地区コミュニティとの連絡をとられ、地域に根差した保育体制が整って行くよう望みます。

## 地区コミュニティセンターについて

- 各地区コミュニティセンターが扱った、前期における公金の取扱高は別表のとおりです。  
取扱状況は前年同期と比較して、件数で218件増加し、金額では152千円の減少となっています。総取扱金額の内訳は、固定資産税、市県民税、軽自動車税、国保税等の税関係が33,430千円で52.6%、介護保険料、水道料等は30,085千円で47.4%でした。
  
- 宝くじ助成事業を活用して、金沢、湖東、米沢の3地区コミュニティセンターにテーブル67台を購入しています。

### 地区コミュニティセンター公金取扱状況

単位：件・円（9月30日現在）

センター 区分	ちの		宮川		米沢		豊平	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
固定資産税	—	—	45	1,181,300	19	263,400	40	615,400
市県民税	—	—	8	221,400	18	152,700	8	108,900
国保税	—	—	46	655,500	16	68,600	14	56,300
軽自動車税	—	—	24	139,400	25	121,600	12	55,200
水道料	—	—	47	346,103	13	115,527	11	56,386
交通災害共済	—	—	9	9,600	6	5,600	2	2,000
介護保険料	—	—	10	35,790	15	95,280	6	13,280
その他	202	203,210	129	614,191	165	1,417,464	107	975,777
計	202	203,210	318	3,203,284	277	2,240,171	200	1,883,243

センター 区分	玉川		泉野		金沢		湖東	
	件数	金額	件数	件数	件数	金額	件数	金額
固定資産税	35	327,400	44	881,300	9	258,500	25	335,000
市県民税	23	439,600	17	569,900	3	138,900	18	303,400
国保税	26	570,900	31	546,100	10	311,000	28	321,100
軽自動車税	20	110,400	15	73,200	10	54,100	35	191,000
水道料	37	388,433	11	163,328	10	85,717	27	308,858
交通災害共済	24	24,400	4	4,000	4	1,600	8	5,600
介護保険料	17	87,920	0	0	2	10,400	10	52,180
その他	133	648,613	117	959,011	49	61,976	130	944,689
計	315	2,597,666	239	3,196,839	97	922,193	281	2,461,827

センター 区分	北 山		中大塩		ベルビア		計	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
固定資産税	32	740,400	45	520,600	574	10,399,400	868	15,522,700
市 県 民 税	11	216,900	39	440,800	279	6,013,900	424	8,606,400
国 保 税	15	193,500	43	540,400	288	3,543,736	517	6,807,136
軽自動車税	24	108,500	27	175,600	256	1,464,900	448	2,493,900
水 道 料	12	174,101	31	394,539	892	7,623,529	1,091	9,656,521
交通災害共済	5	4,400	8	5,600	44	31,600	114	94,400
介護保険料	3	42,740	17	109,800	155	842,020	235	1,289,410
そ の 他	104	571,597	126	1,908,570	485	10,739,974	1,747	19,045,072
計	206	2,052,138	336	4,095,909	2,973	40,659,059	5,444	63,515,539

H26 5,226件 63,667,640円  
比較 218件 △152,101円

地区コミュニティセンター等利用状況

単位：件（9月30日現在）

センター	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
ちの		(92)	(76)	(79)	(72)	(69)	(76)	(464)
		189	167	168	169	150	165	1,008
	事務取扱	0	0	0	0	0	0	0
宮川		(15)	(23)	(24)	(20)	(19)	(31)	(132)
		84	90	87	83	74	88	506
	事務取扱	38	27	88	54	55	55	317
米沢		(22)	(24)	(19)	(18)	(7)	(15)	(105)
		33	34	32	29	13	24	165
	事務取扱	43	43	45	46	22	37	236
豊平		(13)	(15)	(20)	(11)	(16)	(28)	(103)
		33	35	48	35	39	47	237
	事務取扱	39	36	52	48	41	32	248
玉川		(36)	(30)	(35)	(42)	(25)	(38)	(206)
		62	60	62	75	49	77	385
	事務取扱	72	39	89	80	55	72	407
泉野		(33)	(22)	(25)	(27)	(23)	(27)	(157)
		48	45	49	58	37	47	284
	事務取扱	37	33	70	56	30	39	265
金沢		(22)	(21)	(17)	(17)	(18)	(23)	(118)
		43	36	33	40	36	53	241
	事務取扱	36	31	61	32	35	48	243
湖東		(22)	(26)	(18)	(17)	(20)	(28)	(131)
		55	56	43	45	37	52	288
	事務取扱	72	44	117	75	73	53	434
北山		(8)	(11)	(6)	(12)	(7)	(18)	(62)
		46	47	59	58	45	56	311
	事務取扱	37	44	91	65	47	42	326
中大塩		(39)	(39)	(44)	(40)	(22)	(58)	(242)
		70	75	89	77	54	102	467
	事務取扱	41	53	75	60	53	42	324
ベルビア		(5)	(4)	(3)	(6)	(1)	(15)	(34)
		5	4	3	6	1	15	34
	事務取扱	814	650	1,141	794	613	671	4,683
計		(307)	(291)	(290)	(282)	(227)	(357)	(1,754)
		668	649	673	675	535	726	3,926
	事務取扱	1,229	1,000	1,829	1,310	1,024	1,091	7,483

カッコ内は、夜間（午後6時以降）

地区団体事務取扱状況

団体 地区	コミュニティ運 営協議会	地 区 社 協	子ども会 育 成 会	日 赤 奉 仕 団	区 長 会	地 区 公 民 館	その他
ち の	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
宮 川	◎	◎	◎		◎	○	
米 沢	◎	◎	◎	◎	○	○	
豊 平	◎	◎	◎		◎		◎
玉 川	◎	◎	◎		○		
泉 野	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
金 沢	◎	◎	◎	◎	○	○	
湖 東	◎	◎	◎		◎		
北 山	◎	◎	◎		◎		
中 大 塩	◎	◎				○	
ベルビア							

◎は、会計事務を含む。

- 各センター及びベルビア店ともに、公金の取扱金額が多いので、取扱現金はできる限り迅速な入金処理をして、手元に長く置かないよう、引き続き努めていただきたい。
- ベルビア店は、市民にはなくてはならない貴重な施設となっており、公金の年間の取扱金額は約千万円で件数は6千件と特に多い機関となっております。現金の保管及び移送には、引き続き十分に気をつけて対応するようお願いしたい。少人数の職員が交代で多種多様な対応をされているため、万が一危険を感じるような場に備えての訓練や、防犯カメラや防犯ベルなどの設置等を早急に検討してください。また、事務スタッフが常時2人は常駐する体制の確立が望まれます。
- 地区団体の一般事務及び会計事務を数多く扱っています。会計事務に当たっては、「公金等取扱標準マニュアル」に基づく、公金等管理チェックシート等による事務処理を徹底し、複数人のチェック体制による、適正な事務処理の確保に努めてください。
- 地区コミュニティを構成する各種団体へ市から交付される補助金等は、運営協議会等を通じて交付されています。ほとんどの補助金が年間の定額的な補助金となっており、事業に対して交付する事業費補助とすることの検討が必要ではないかと考えます。毎年、運営協議会から恒例的に交付している補助金についても、本来の目的に合った支出をされているのか見直す機会が必要ではないかと考えます。  
運営協議会等を通じて補助金等を交付した団体については、事業及び会計等の報告書の提出を求め、地区コミュニティセンターにおいても用途等について把握し、チェックできる体制づくりに引き続き努めてください。
- 地域の課題は、地区の特色があるとおり、地域それぞれです。コミュニティの職員が地域の課題を地域と一緒に考えて、市の出先機関として行政にフィードバックしていただきコミュニティの活動が底辺から活性化することを期待します。
- 今年度7月から、区自治会からの要望の内容を把握するため、各地区コミュニティセンターで受付処理を行なっているため、区との連携がとりやすい環境になりました。アドバイザー的パイプ役としての調整を引き続きお願いします。

## スポーツ健康課について

- 歳入は、体育施設使用料、受講料、その他で、予算額38,938千円のところ収入済額が前年同期比で2,221千円増加し、23,095千円となっており、収入歩合は59.3%となっています。

バッティングセンターを除く9月30日現在における運動公園等施設の利用人数は、前年同期比で13,541人増加して218,250人であり、バッティングセンターの利用回数も前年同期比730.5回減少の38,289.0回となっています。

特に7・8月は天候に恵まれ、プールの利用人数が前年同期比42.6%増加となっています。

使用料については、次の表のとおりです。

### 体 育 施 設 使 用 料

単位：円（9月30日現在）

年度 区分	23	24	25	26	27
総合体育館	2,320,205	2,935,065	3,032,065	2,929,195	3,088,320
庭球場	1,664,160	1,655,600	187,500	1,962,170	2,099,630
野球場	279,715	281,580	396,730	533,520	570,410
広場野球場	963,020	884,140	897,100	843,850	876,230
弓道場	347,200	385,470	373,620	305,820	282,300
陸上競技場	168,410	1,460,050	2,410,480	2,053,600	2,614,000
屋内ゲートボール場	66,000	42,600	115,820	96,880	99,440
自由広場	29,720	80,780	77,560	78,370	71,325
プール	4,603,000	4,691,000	4,891,000	3,248,460	4,589,400
駐車場	13,200	0	7,800	16,200	3,000
野外音楽堂	35,880	19,490	8,030	8,980	8,490
バッティングセンター	9,609,200	7,906,500	8,621,700	7,677,700	7,657,000
焼肉広場	175,000	180,000	175,000	208,000	182,000
練成館	138,290	98,770	132,040	136,130	82,180
その他使用料	79,260	104,380	173,870	146,460	146,200
スポーツ教室受講料	530,000	430,000	490,000	440,000	530,000
その他	0	187,500	205,500	188,590	194,454
計	21,022,260	21,022,260	23,823,165	20,873,925	23,094,829

- 歳出は、保健体育費で予算額240,233千円に対して支出額111,466千円で、執行率46.4%でした。このうち、保健体育総務費は、予算額59,865千円に対して支出済額32,015千円、執行率53.5%で、職員7人（臨時職員1人を含む。）の人件費等が主なものです。体育施設費は予算額180,368千円に対して支出額79,451千円で執行率44.1%でした。体育施設費の支出額の主なものは、委託料では体育施設維持管理費9,256千円、体育施設環境整備事業費3,367千円、市営プール管理運営費14,743千円、バッティングセンター管理運営費1,785千円であり、工事請負費では、体育施設整維持管理費20,632千円、体育施設整備事業費13,104千円となっています。
- 運動公園は施設が広範囲にわたっており、管理していくことは難しいと思いますが、引き続きこまめなメンテナンスの実施に努めていただきたい。特に運動公園は、市街地に市有地として残された貴重な緑のエリアを拡大に含む施設です。この恵まれた環境を活かし、子どもから高齢者まで市民が楽しめる施設となるよう、環境整備について配慮いただきたい。
- 公園の植栽計画については、専門家の意見を聞き、植栽後も維持経費がかからないようにしていただくよう要望します。
- 昭和51年の野球場の竣工から平成3年の国際スケートセンターの完成まで建設から39年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。また、公園内には利用頻度の低い施設もあり、利用状況を見ながら、今後の施設維持の可否を見極める必要があると考えます。
- 平成26年度から公園内のじゃぶじゃぶ池の管理が都市計画課からスポーツ健康課に移管され、職員の創意工夫により、取水方法や取水の管理改善をされ、経費の削減に努められています。今後も、老朽化による施設の管理の一助になるよう努められたい。

## 公 民 館 に つ い て

- 歳出の公民館費は、予算額75,178千円で、支出額25,071千円、執行率33.3%でした。

支出済額の主なものは、職員の人件費が11,270千円、一般経費が4,830千円、公民館管理運営費が5,682千円でした。

- 各種講座、高齢者大学、ロビー展等のほかに公民館報の発行を主な事業として実施しており、地区公民館事業（分館事業）については、各地区コミュニティセンターにおいて担当しています。
- 公民館の利用状況は、次の表のとおりです。

（9月30日現在）

月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
利用人数（人）	2,563	3,526	3,240	3,117	2,734	4,079	19,259
26年度同期	2,876	3,209	3,226	3,254	2,639	4,158	19,362
使用料（円）	1,120	820	4,800	1,230	410	3,970	12,350
26年度同期	0	0	2,950	880	0	1,140	4,970

- 勤労青少年ホームの利用状況は、次の表のとおりです。

（9月30日現在）

月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
利用人数（人）	789	1,083	1,193	1,202	863	956	6,086
26年度同期	886	1,032	1,048	1,284	888	1,015	6,153
0使用料（円）	870	840	570	0	4,230	2,380	8,890
26年度同期	0	0	0	0	0	0	0

- 平成27年度の公民館の利用者数は、平成26年度同期と比べて103人減少し、19,259人となっています。同じく平成27年度の勤労青少年ホームの利用者数は、平成26年度同期と比べて27人減少して6,086人となりました。

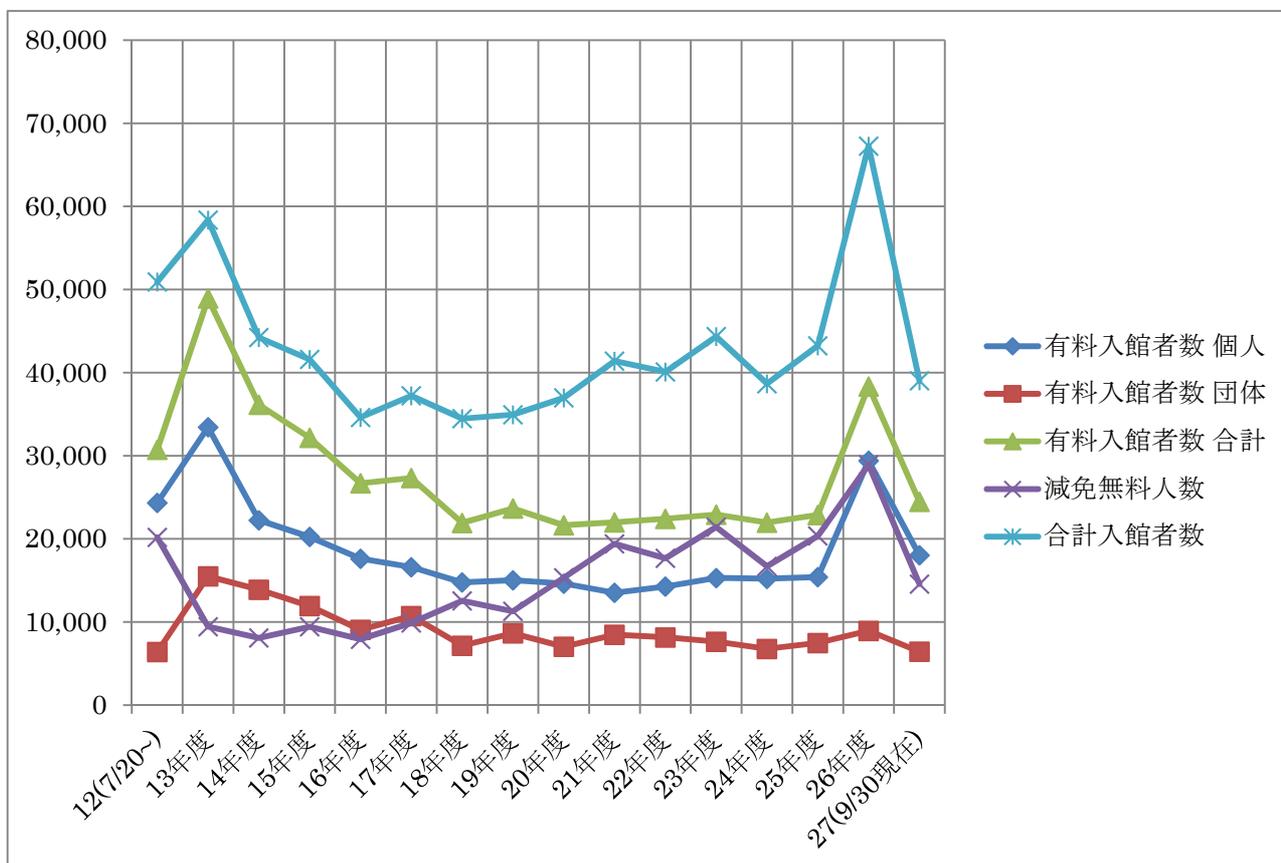
- 公民館活動の範囲は広く多岐にわたっており、これからの公民館活動のあり方については、将来に向けて重要な課題となります。当市は他市に比べて公民館活動が活発ですが、今までの良い面は積極的に伸ばしながら、新たな活動の模索に努めていただくことが望まれます。

公民館職員を兼務している地区コミュニティセンターの職員は、平成25年度から正規職員2名体制になっています。連携をより密にして、地域から課題等を持ち上げるなど、地域との良好な関係が保てるよう対応していただきたい。

## 尖石縄文考古館について

○ 尖石縄文考古館の入館者数及び入館料の推移は次のとおりです。

年度	有料入館者数 (人)			減免無 料人数	合計入 館者数	入 館 料 (円)	13年度 対比指数
	個人	団体	計				
12(7/20~)	24,331	6,397	30,728	20,182	50,910	12,907,200	66.9
13年度	33,437	15,498	48,935	9,433	58,368	19,291,400	100.0
14年度	22,245	13,894	36,139	8,086	44,225	13,669,200	70.9
15年度	20,241	11,923	32,164	9,432	41,596	11,979,194	62.1
16年度	17,623	9,066	26,689	7,924	34,613	10,199,500	52.9
17年度	16,600	10,727	27,327	9,886	37,213	10,057,300	52.1
18年度	14,766	7,156	21,922	12,548	34,470	8,439,750	43.7
19年度	15,015	8,643	23,658	11,286	34,944	8,784,600	45.5
20年度	14,618	7,026	21,644	15,326	36,970	8,384,300	43.5
21年度	13,521	8,469	21,990	19,405	41,395	7,903,650	41.0
22年度	14,270	8,151	22,421	17,662	40,083	8,431,300	43.7
23年度	15,291	7,628	22,919	21,425	44,344	9,255,000	48.0
24年度	15,195	6,767	21,962	16,700	38,662	8,526,950	44.2
25年度	15,404	7,474	22,878	20,357	43,235	8,710,975	45.2
26年度	29,404	8,935	38,339	38,339	67,259	15,924,500	82.5
27(9/30 現在)	18,028	7,428	27,156	24,464	39,032	10,063,650	52.2



- 入館者は平成13年度をピークに減少していく傾向にありましたが、平成26年度は、67,259人増加し、前年度の同期比で79.8%と高い水準を維持しています。「仮面の女神」が国宝に指定されたことが大きな要因となっているものと思われます。
- 日々、入館料等現金の取扱いが発生しています。公金管理チェックシート等による事務処理を徹底し、常に適正な事務処理の確保に努めていただきたい。
- 「仮面の女神」が国宝に指定され、「縄文のヴィーナス」と併せて二体の国宝を所有できたことは「縄文プロジェクト」を推進していく上で大きな後押しとなりました。この盛り上がりを一過性ものにならないように、情報発信を積極的に行いPRに努めていただきたい。

青少年自然の森について

- 財産の状況
  - ・ 敷地 45,873 m<sup>2</sup> 市有地
  - "    9,004 m<sup>2</sup> 借地 (南大塩財産区)
  - 合計 54,877 m<sup>2</sup>
  - ・ 建物
    - 管理棟 鉄骨木造併用2階建 51.95 m<sup>2</sup>
    - 宿泊棟 木造平屋建て5棟×322.41 m<sup>2</sup> 1,612.05 m<sup>2</sup>
    - 炊飯棟 木造平屋建て 140.14 m<sup>2</sup>
    - 研修棟 鉄骨木造併用平屋建て 728.00 m<sup>2</sup>
    - 合計 3,232.14 m<sup>2</sup>
- 予算の執行状況
 

青少年自然の森費は、歳出予算額4,368千円に対し支出済額2,290千円で執行率は52.4%でした。支出済額の主なものは、使用料及び賃借料の2,083千円です。
- 施設の利用状況
 

施設の利用者数は、次の表のとおりです。  
利用者数は平成20年度に一旦、減少したものの、平成21年度から徐々に増加傾向にあり、平成25年度には8,661人と過去最大の利用者数となりましたが、天候に左右されるため利用者数に変動はあるものの、ほぼ横ばい状態です。

単位：人（27年度は9月30日現在）

年 度	20	21	22	23	24	25	26	27
延利用者	7,078	7,298	7,996	8,420	8,192	8,661	6,669	5,038

- 運営状況
 

施設は、国指定特別史跡「尖石遺跡」に隣接し、豊かな自然に恵まれた環境を最大限に活用し、「縄文の里・ふれあい体験の森」をテーマに、次代を担う青少年のための原体験施設として、また市民の生涯学習の場として、引き続きPRに努めていただきたい。

平成14年から公立学校の完全週5日制に伴い、同年7月から市内在住および市内学校に在学する小中高校生の宿泊料が無料となっています。

炊飯棟、宿泊棟および研修棟等については、事故等を防止するため施設の日常点検を確実にを行い、適正な管理に努めるとともに、利用者に対しては利用上のルールを周知徹底するよう引き続き努めていただきたい。

冬期間の利用者数が極端に少ないことから、昨年度から、12月・1月・2月の3ヶ月間の休館を初めて試みで行った結果は、天候に左右されるもほぼ、横ばいの状態の利用度と思われる。今後の運営方法については、千駄刈自然学校利用客の雨天対策による受入れ等を検討し、「青少年自然の森」の本来の目的や役割に添いながらも、誘客に結びつくよう一層のPRをしていただきたい。

八ヶ岳総合博物館について

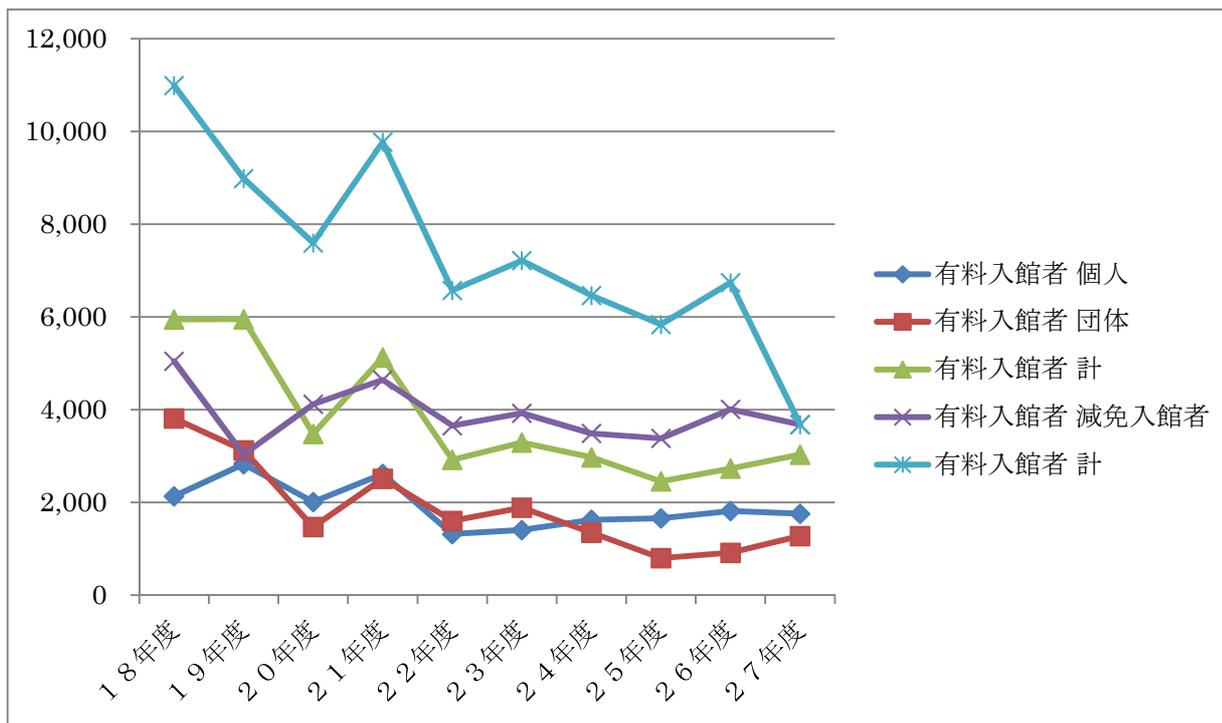
○ 財産の状況

- ・ 敷地 26,610 m<sup>2</sup> 市有地
- ・ 建物 鉄筋コンクリート 3,342.11 m<sup>2</sup>

○ 八ヶ岳総合博物館の入館者及び入館料の状況は次表のとおりです。

(9月30日現在)

区 分 年 度	有料入館者 (人)			入館料 (円)	減免入館者数	計
	個人	団体	計			
18	2,133	3,812	5,945	1,046,790	5,045	10,990
19	2,826	3,125	5,951	1,196,260	3,033	8,984
20	2,009	1,470	3,479	743,470	4,117	7,596
21	2,614	2,512	5,126	1,057,750	4,643	9,769
22	1,317	1,603	2,920	556,010	3,654	6,574
23	1,404	1,888	3,292	601,910	3,923	7,215
24	1,626	1,348	2,974	621,800	3,488	6,462
25	1,657	799	2,456	580,530	3,381	5,837
26	1,815	915	2,730	619,420	4,008	6,738
27	1,754	1,277	3,031	660,360	3,678	6,709



○ 予算の執行状況

歳入の博物館使用料（入館料）等は、予算額が1,611千円に対し、収入済額が9,277千円で収入歩合は57.5%でした。

歳出の博物館費は、予算額が50,333千円に対し、支出済額は19,065千円、執行率は37.9%でした。支出済額の主なものは、職員7人（嘱託・臨時を含む。）人件費等が11,049千円と一般経費（嘱託・臨時職員の賃金及び共済費を除く）が2,866千円、施設・設備管理委託や光熱水費等の博物館管理運営費が6,424千円でした。

- 平成14年度から公立学校の完全週5日制に伴い、同年7月から市内在住または市内の学校に在学する小中高校生の入館料を無料とし、平成15年4月からは、他の諏訪5市町村の小中学生の入館料を無料としています。今年9月30日現在の無料入館者数は、3,678人であり、有料入館者数と併せた入館者総数は6,709人となり、前年同期と比べて29人減少していますが、団体等は増えています。要因は、「永明寺山古墳展」、「運動公園の日本リス」「柳原白蓮と蓼科」など身近な企画展などに多くの入館者を呼んだことから、今後も魅力ある企画や情報の発信に努められたい。

- 八ヶ岳総合博物館は茅野市の自然、風土、文芸及びそれとともに生きてきた人々の生き方に関する学習を支援する機関としての役割を担ってきました。多くの市民が学習に訪れる場として、博物館のあり方を協議する「企画運営会議」を発足し中長期計画が提示され、平成27年度は、展示解説動画の発信や、施設の改修を検討し、具体的な案の策定等博物館の改革に取り組み、新しい方向が見えつつあります。自然科学をアピールする方向で取り組まれています。この施設の位置づけ（名称変更を含む）を明確にされることを望み、岳麓文芸館の位置づけをどうするのかも課題となります。

また、別荘地などで、専門分野などで活躍されている著名な方などを活用し、土日には何か企画をやっているなどの発信ができるような施設として宣伝ができ、魅力ある博物館の運営に努められたい。

- 入館料等現金取扱事務に当たっては、「公金等取扱標準マニュアル」に基づく、公金等管理チェックシート等による事務処理を徹底し、複数人のチェック体制による、適正な事務処理の確保に努めてください。

神長官守矢史料館について

- 財産の管理状況

敷地	史料館敷地	8 2 2 m <sup>2</sup>	(市所有地)
	史料館進入路	1 6 5 m <sup>2</sup>	(有償借地)
	史料館周辺整備	4, 0 1 2. 0 5 m <sup>2</sup>	(無償借地)
	合 計	4, 9 9 9. 0 5 m <sup>2</sup>	
建物	鉄筋コンクリート造2階建	床面積	1 8 4. 4 3 m <sup>2</sup>

- 予算の執行状況

歳入の守矢史料館使用料（入館料）等は、予算額が808千円に対して、収入済額509千円で、収入歩合は63.0%でした。収入は、守矢史料館使用料（入館料）が448千円（収入歩合68.9%）、売上収入のうち守矢史料館展示解説書が20千円（32.8%）、守矢文書目録が2千円（3.3%）、守矢史料館解説書が39千円（63.9%）、となっています。

歳出では、予算額が8,255千円に対して支出済額2,912千円で、執行率は35.3%でした。支出済額の主なものは、嘱託・臨時職員の賃金1,817千円、管理運営費の委託料586千円等です。

- 利用状況及び入館料

(9月30日現在)

区分 月	個人 (人)	団体 (人)	計	H26 同期	入館料 (円)	H26 同期
4	475	36	511	561	49,630	54,080
5	834	0	834	716	82,080	68,760
6	406	41	528	528	41,570	49,540
7	516	57	573	501	54,260	48,900
8	1,250	104	1,354	1,216	127,870	115,860
9	1,024	94	1,118	772	107,170	76,450
計	4,505	332	4,837	4,294	462,580	413,590
減免	114	0	114	167	350	630
合計	4,619	332	4,951	4,461	462,930	414,220

- 平成14年度から公立学校の完全週5日制に伴い、同年7月から市内在住または市内の学校に在学する小中高校生の入館料を無料とし、平成15年4月からは、他の諏訪5市町村の小中学生の入館料を無料としています。
- 昨年は、入館者数は減少したが、今年度は個人、団体ともに増加に転じて、昨年度の同時期に比べて490人の増加となっています。この施設は、諏訪の古き歴史を解き明かす貴重な資料が展示、保存されている施設であり、現在世界的に注目されている地元の建築家の処女作品でもあるという二つの局面をもっています。史料館の概要、周辺施設や謂れのある場所と併せて積極的に外部に発信し、来年の御柱祭にも期待しつつ、多くの方が史料館を訪れるように、引き続き努めていただくようお願いするものです。
- 入館料や解説書販売等現金取扱事務に当たっては、「公金等取扱標準マニュアル」に基づく、公金等管理チェックシート等による事務処理を徹底し、複数人のチェック体制による、適正な事務処理の確保に努めてください。

図 書 館 に つ い て

- 財産の状況  
敷地 5,515.27 m<sup>2</sup> 市有地  
建物 鉄筋コンクリート 1,613.60 m<sup>2</sup>
- 図書貸出状況は、次のとおりです。

(9月30日現在)

区分 年度	本 館		分 室		市民館図書室		計	
	人数 (人)	冊数 (冊)	人数 (人)	冊数 (冊)	人数 (人)	冊数 (冊)	人数 (人)	冊数 (冊)
16	23,199	106,456	10,407	27,260			33,606	133,716
17	18,443	83,077	9,708	27,052	2,158	6,820	30,309	116,949
18	24,559	105,964	9,252	23,988	4,936	16,174	38,747	146,126
19	26,780	114,497	9,488	25,157	3,627	11,893	39,895	151,547
20	28,786	124,480	9,097	23,464	3,366	10,752	41,249	158,696
21	32,666	136,313	9,020	23,240	3,232	9,849	44,918	169,402
22	29,847	124,796	7,966	21,043	2,683	8,294	40,496	154,133
23	28,002	120,591	7,340	19,946	3,217	9,834	38,559	150,371
24	29,216	123,973	7,169	19,558	2,595	7,941	38,980	151,472
25	30,493	128,324	6,827	18,497	2,481	7,526	39,801	154,347
26	29,072	122,034	5,733	15,667	2,274	6,456	37,079	144,157
27	28,675	118,070	5,628	15,713	2,148	6,212	36,451	139,995

- 今年度の利用人数及び貸出冊数は、前年度同時期と比べて、利用人数で628人、貸出冊数で4,162冊減少しています。

- 歳出の図書館費は、予算額73,872千円に対して支出済額は30,719千円で、執行率は41.6%でした。支出済額の主なものは、本館職員12人（嘱託・臨時職員を含む。）の人件費13,661千円と図書館運営費の賃金及び共済費で5,598千円、図書館施設管理費3,025千円、図書館資料購入事業費3,394千円等となっています。
- 貸出図書の未返却者については、はがきや電話による返却依頼をしていますが、長期の未返却者も数人いることなど、引き続き早期の回収と効率的な貸出運用に努めていただきたい。
- 図書館の重要な役割は、市民が知りたいこと、必要とする情報を収集・提供・保存することだと考えます。今年度、予算等の関係で雑誌や新聞等の購入を削減したことにより、利用者が減少したとお聞きしました。図書館は市民による市民のためのものでなくてはならないと考えます。一人でも多くの市民が利用され、大勢の人が集うコミュニティの場でもあってほしいと願います。
- これからの図書館の在り方や運営については、図書館利用者の声や市民の声を生かし、ビーナちゃんバスの有効運用等の利便性の確保も合わせ、長期を見据えた検討を充分していただきたい。

家庭教育センターについて

- 財産の管理状況
 

敷地（ちの地区コミュニティセンターと共用）	3,055.56㎡	市有地
建物 鉄骨造2階建 延床面積	796.40㎡	
- 予算の執行状況
 

歳出の人件費は、予算額8,621千円に対して支出済額は4,232千円、執行率49.1%、家庭教育センター運営費は、予算額9,598千円に対して支出済額は4,459千円、執行率46.5%、家庭教育センター施設管理費は、予算額3,265千円に対して支出済額804千円、執行率24.6%であり、合計では、予算額21,484千円に対して支出済額9,495千円、執行率は44.2%でした。
- 利用状況及び使用料

単位：人（9月30日現在）

利用団体	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
社会教育関係団体	1,337	1,187	1,081	1,066	929	985	6,585
社会教育団体以外	99	102	104	102	114	99	620
市役所関係	312	612	2,611	420	401	342	4,698
その他	0	0	11	2	50	4	67
計	1,748	1,901	3,807	1,590	1,494	1,430	11,970
H26同期	1,878	2,009	3,957	1,622	1,548	1,709	12,723
使用料（円）	4,100	4,930	4,100	4,100	4,510	5,660	27,400
H26同期	7,970	7,690	9,130	11,275	9,030	2,820	52,915

○ 施設の管理運営について

子育て支援、家庭教育、男女共同参画社会づくり、各種相談、貸館事業が主な業務であり、相談件数は平成21、22年度に減少傾向にありましたが、平成23年度から2年連続で増加傾向にありました。平成25年度からは再び減少しています。施設利用者は平成21年度から減少傾向が続いています。今年度も昨年度同期と比べて753人減少し、使用料も25,515円の減少となっています。

○ 教育・家庭相談等について

教育・家庭相談及び女性相談は平成22年度まで減少していましたが、平成23年度と平成24年度の2年間、相談人数が増加していましたが、平成25年度からはやや減少してきています。子育て、家庭、教育等様々な悩みを抱えた相談者が、気軽に安心して利用できるような環境づくりや、親切ていねいな相談に引き続き心がけていただくようお願いするものです。

保健福祉サービスセンターについて

○ 職員配置状況 (9月30日現在 育児休業の職員を含む。)

センター名	職員数 (人)	嘱託・臨時職 員 (人)	計 (人)	平均年齢 (歳)
東部保健福祉サービスセンター	5	3	8	42.6
西部保健福祉サービスセンター	7	2	9	41.4
中部保健福祉サービスセンター	5	5	10	46.8
北部保健福祉サービスセンター	5	1	6	44.2

○ 予算執行状況

・ 歳入

センター名	予算現額 (千円)	調定額 (千円)	収入済額 (千円)	収入未済 額 (千 円)	収入歩合 (%)	
					予算対比	対調定
東部保健福祉サービスセンター	60	0	0	0	—	—
西部保健福祉サービスセンター	12,392	3	3	0	0.0	100.0
中部保健福祉サービスセンター	0	0	0	0	—	—
北部保健福祉サービスセンター	2,751	1,155	1,155	0	42.0	100.0

・ 歳出

センター名	予算現額 (千円)	支出済額 (千円)	予算残額 (千円)	執行率 (%)
東部保健福祉サービスセンター	10,140	3,533	6,607	36.4
西部保健福祉サービスセンター	20,401	6,380	14,021	31.3
中部保健福祉サービスセンター	5,525	3,162	2,363	57.2
北部保健福祉サービスセンター	6,080	3,439	3,641	40.1

※ 中部保健福祉サービスセンターは、仮称市民活動センター建設のため、本庁舎に移転しているため、収入予算はありません。

・茅野市の高齢化率

(4月1日現在)

地区	茅野市	玉川	豊平	泉野	東部エリア	宮川	金沢	西部エリア
高齢化率	27.8	23.7	30.6	32.1	26.5	27.8	32.6	28.7

地区	ちの	米沢	中大塩	中部エリア	湖東	北山	北部エリア
高齢化率	26.8	29.1	24.2	26.7	29.0	33.8	31.5

- 保健福祉サービスセンターは活動を始めて14年が経過しており、保健・医療・福祉の分野において様々な制度改正や新たな事業などによって、業務量の増加や業務内容が多岐にわたり、また複雑になってきています。職員体制においては、専門職も含め業務に支障を来すことのない体制づくりに引き続き努めていただきたい。
- 茅野市の高齢化率は4月1日現在で27.8%となっており、昨年に比べ0.9%上昇しています。今後、ますます高齢化は進んでくることが予想されます。高齢化に伴い、独居の高齢者や高齢者だけの世帯が増加してくることが予想され、エリア内における独居高齢者等の世帯を把握し、支援することが求められてきます。市民が安心して自立した生活ができるために4つの保健福祉サービスセンター、各地区コミュニティーセンターと社会福祉協議会、あるいは郵便局等が互いに連携し、情報を共有し、地区ごと課題に多少の違いはあるにしても互いに取組む仕組みづくりをしていただくことを願います。
- 発達障がい者や精神障がい者は増加傾向にあり、発達支援センターと連携をとり、生涯に繋がるシステム（組織）づくりをしていただきたい。

茅野市国民健康保険診療所（リバーサイドクリニック）について

- 財産の状況
 

建物	リバーサイドクリニック	鉄骨造平屋建	677.90㎡
	泉野診療所	木造平屋建	138.72㎡
	北山診療所	耐火構造	86.45㎡
- 収益的収入及び支出の予算の執行状況
 

予算額	221,775千円	収入済額	89,711千円
		支出済額	97,815千円

差し引き △8,104千円の診療事業収支でした。

診療事業収支は、前年同期△596千円と比べて、7,508千円減少しています。これは外来収益の増加によるものです。

平成22年度から新たに導入した新医療情報システムのリース料及び保守料の支払いが平成25年度で終了しております。

○ 利用状況（外来患者数） （人）

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	合計	26年度 同期
リバーサイドクリニック	1,695	1,562	1,637	1,689	1,624	1,694	9,901	9,741
泉野診療所	42	36	40	38	32	41	229	227
北山診療所	199	193	218	261	254	209	1,334	358
計	1,936	1,791	1,895	1,988	1,910	1,944	11,464	10,326

○ 平成13年に開業して15年目を迎え、平成22年度から24年度まで3年連続赤字決算となっていました。患者数の増加と一般会計からの補助金により平成25年度、26年度は、黒字決算となりました。同期と比べて1,138人（11.0%）増加しており、リバーサイドクリニックで160人（1.6%）の増加となっています。また、常勤体制になった北山診療所は、976人（272.6%）と大幅に増加しています。また、北山診療所においては平成26年10月からは、待望の常勤医師の勤務により、常設診療所として月曜日から金曜日の全日診療を行い、訪問診療等にも力を入れていただいております。一層、別荘を抱える地域として、北山診療所をPRしていただき利用していただけるよう要望します。

発達支援センター・母子通園訓練施設（やまびこ園）について

○ 財産の状況

敷地 2,010.00 m<sup>2</sup> 市有地  
 建物 鉄骨造 1,356.51 m<sup>2</sup>

○ 予算の執行状況

歳出予算額 12,818千円 支出済額 4,977千円 執行率 38.8%

○ 利用状況

母子通園訓練施設（やまびこ園）の利用は、市内に在住している心身の発達等で特に早期の療育や支援などを必要とする乳幼児24名とその家族が通園し、園児の機能訓練、言語訓練、栄養指導、療育相談内科検診、保育指導等、様々な訓練、指導を行っています。

○ 臨床心理士1名、コーディネーター1名を配置して、0歳から18歳までの発達状況に応じて各分野と連携をして継続的な支援を行っています。発達支援センターとやまびこ園との役割が解りづらい組織になっていると昨年の課題となっておりましたが、2年目を迎え、通園施設のやまびこ園と発達支援センターとの役割が明確化されてきたように感じます。今後、支援を必要とする乳幼児や生徒が増える傾向にあり、ライフステージごとの継続的な支援ができるようになることを期待し、当面、保健師の増強を前向きに検討されたい。

○ 発達支援センターと4エリアの保健福祉サービスセンターと連携して、生涯を通じて支援できる線と面での応援体制ができていくことを希望します。

○ 発達支援を必要とする子どもが年々増えていく中で、訪問や相談に対応する回数が急激に増えていることに鑑み、チームスタッフの機動力を高めるために、センターに専用の車を早急に配車出来ないかを検討していただきたい。

千駄刈自然学校について

○ 財産の管理状況

・ 土地

施設敷地・駐車場	12,521.555 m <sup>2</sup>	借地	(株)蓼科ビレッジから転借
自然体験用地	4,958.0 m <sup>2</sup>	所有地	
自然体験用地	946,375.0 m <sup>2</sup>	借地	東洋観光事業(株)所有地
自然体験用地	1,013,100.0 m <sup>2</sup>	借地	長野県所有地
合計	1,976,954.555 m <sup>2</sup>		

・ 建物

千駄刈自然学校校舎	木造鋼板葺平屋建	179.306 m <sup>2</sup>
付帯施設	木造鋼板葺平屋建	227.5 m <sup>2</sup>
合計		406.806 m <sup>2</sup>

○ 予算の執行状況

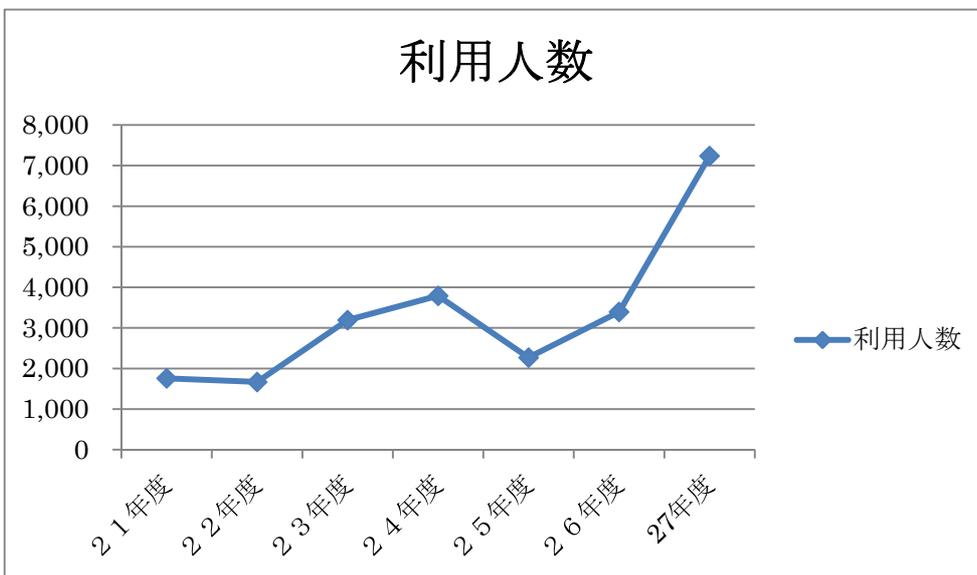
歳出の千駄刈自然学校管理運営費は、予算額4,590千円に対して支出済額が1,934千円で、執行率は42.1%でした。支出済額の主なものは、体験プログラム委託業務の700千円等です。

○ 施設の利用状況

(9月30日現在)

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
	利用	施設	0	0	0	0	18	0
人数 (人)	体験プログラム	9	307	387	3,463	2,821	231	7,218
	計	9	307	387	3,463	2,839	231	7,236
施設使用料 (円)		0	0	0	0	0	0	0

同期の利用人数は、平成21年度1,755人、平成22年度1,667人、平成23年度3,194人、平成24年度3,791人、平成25年度2,268人、平成26年度3,392人でした。



- 平成21年度からNPO法人蓼科・八ヶ岳国際自然学校に施設の管理運営を委託して7年目となりました。  
体験プログラムの充実や天候により、平成27年度は過去最高の利用者数となりました。天候に影響され、雨天時の対応や大勢集まることによるトイレ、食事等の課題も引き続きあるとお聞きしました。雨天対策が設定しにくい状況下による誘客人数の損失は大きいため、担当課と協議していただき、可能な限り対応できる方法を検討していただくと共に、近隣の市の施設、地区公民館等との連携を持つことにより対応し、誘客数を伸ばすことが必須と考えます。指定管理者制度移行による独立目標の利用客8千人規模に年々近づいています。一層広域なPRをするとともに、体験プログラムを充実され、特色ある施設となるよう期待します。
- 管理運営上、次のことについて引続き努めていただきたい。
  - ・施設は山岳地帯に位置するため、不慮の事故等が想定されるので、受付簿に利用者の住所、氏名、連絡先を記入していただくようお願いします。

こども館0123広場について

- 予算の執行状況  
歳出のこども館費は、予算額10,893千円に対し、支出済額4,826千円で、執行率は44.3%でした。支出済額の主なものは、嘱託保育士3名の賃金3,477千円等となっています。
- 入館者の状況 (9月30日現在)

区分		月							計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
利用者 (人)	市内	798	929	995	1,096	933	934	5,685	
	市外	630	750	706	790	947	796	4,619	
	計	1,428	1,679	1,701	1,886	1,880	1,730	10,304	
登録者 (人)	市内	50	61	45	51	36	40	283	
	市外	75	93	65	90	132	91	546	
	計	125	154	110	141	168	131	829	
相談件数		20	47	47	38	39	42	233	

年度別利用状況

(単位：人)

年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
利用者	20,855	22,195	20,435	19,870	19,189	18,910
登録者	1,231	1,316	1,307	1,299	1,256	1,378
相談件数	560	428	365	344	270	398

平成14年の開館から平成26年度までの利用者数は、累計で293,630人となっています。今年度9月30日までの利用者数は、10,304人で1日平均利用者数は、65.6人(平日78人、土日祝日46人)となっています。前年同期に比べて利用者数で454人増加し、1日平均利用者で2.9人増加しています。

○ 運営・管理は、ボランティア、利用者代表者と行政担当者が0123広場運営委員会を設置し、施設の整備計画や行事予定等を協議しており、最近の傾向としては、お父さんの育児に参加する講座に関心があり、育児に協力的な姿が多く見られるようです。CHUKOらんどチノチノとの連携等、引き続き特色ある活動を望むものです。

○ 子育てに悩む母親の相談場所として、また、同世代の親同士の話し合いの場所として、子ども同士が大いに遊べる場所としての大切な役割をもった施設です。今後はさらに核家族化が進むことが予想される中で、需要が高まってくると思われます。

相談件数は、横ばい状態ですが発達、発育に関する相談が増えてきており、母親自身の悩み相談も増えてきているとお聞きしました。必要に応じて関係部署との連携を図っていただきたい。少子高齢化が進む社会において、子育て、親育ちを応援する施設として市民からはもとより、市外からの関心も高く注目されています。この施設を通じて子育ての楽しさを感じていただけるよう努めていただきたい。そして、何より施設の存在をより多くの方に知っていただくことが大切なことですので、引き続きPR等に努めていただきたい。

### こども館CHUKOらんどチノチノについて

○ 予算の執行状況

歳出のこども館中高生広場運営費は、予算額5,058千円に対して、支出済額2,085千円で執行率41.2%でした。支出済額の主なものは、嘱託職員の賃金及び共済費2,738千円となっています。

○ 利用者の状況

(9月30日現在)

区分		月						計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者 (人)	高校生	943	1,172	1,538	1,476	1,004	1,318	7,451
	中学生	125	119	71	130	278	173	896
	計	1,068	1,291	1,609	1,606	1,282	1,491	8,347

年度別利用状況

(単位：人)

年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
利用者	13,546	14,341	13,198	14,049	15,255	7,536
登録者	698	860	802	1,081	1,022	859

今年度4月から9月までの利用者は、8,347人で、前年同期と比べて811人増加しており、その内、高校生の利用者数が822人、前年対比で12.4%増加し、中学生の利用者数は11人、前年度比で1.2%減少しています。1日の平均利用者は53人で、前年同期と比べて5人増加しています。

○ CHUKOらんどチノチノは、子ども達が自ら考え行動に結び付けていく、社会教育の場となっています。この施設で活動している中高生が地域で発表できる場を設ける事により、中高生が地域に出る事ができ、社会貢献の場となります。今年度、この施設を利用しているバンド、ダンスグループによる自主企画のイベントを、茅野ロータリークラブからの支援により、ベルビア地下1階のピアノマンで開催したり、市内の保育園や地区コミュニティやこどもまつりなどのイベントに参加し発表するなど地域との交流も積極的に行っており、継続的な活動が図られるようサポートしていただくことを希望します。

また、このことで地域に評価され子どもたちの励みにもなります。CHUKOらんどチノチノを市民に対してもっとPRしていただきたい。

○ CHUKOらんどチノチノを卒業した子どもたちが支援できる環境づくりをしていただき、縦の繋がりを大事にして、さらなる広がり（繋がり）が持てるように努めていただきたい。

### 美サイクルセンターについて

○ 財産状況

土地	茅野市花蒔埋立地	4,780.0	m <sup>2</sup>	市有地
	美サイクルセンター	11,015.5	m <sup>2</sup>	借地
	茅野市不燃物処理場	6,652.7	m <sup>2</sup>	借地
	茅野市最終処分場	18,153.36	m <sup>2</sup>	市有地
	茅野環境館	1,472.3	m <sup>2</sup>	市有地
	蓼科有機センター	3,730.0	m <sup>2</sup>	借地
	合計	45,803.86	m <sup>2</sup>	
建物	不燃物処理場 鉄筋鉄板ルーフデッキ	418.68	m <sup>2</sup>	
	美サイクルセンター古紙梱包施設 鉄筋コンクリート	930.5	m <sup>2</sup>	
	放置自転車保管庫 軽量鉄骨	135	m <sup>2</sup>	
	茅野環境館 鉄筋コンクリート	421.2	m <sup>2</sup>	
	蓼科有機センター 軽量鉄骨造	445.5	m <sup>2</sup>	
	合計	2,350.88	m <sup>2</sup>	

○ 予算の執行状況

歳入は、予算額51,549千円に対して収入済額が8,497千円で、予算額の内、諏訪南行政事務組合納付金25,692千円が12月以降に納入されることから、収入歩合は16.5%となっています。歳入済額の主なものは、古紙類等売却収入7,889千円となっています。

歳出は予算額538,521千円に対して支出済額305,939千円で執行率53.8%でした。主な支出は清掃費で、予算額563,128千円に対して支出済額269,615千円で、執行率は50.1%でした。支出済額の主なものは、諏訪南行政事務組合負担金159,284千円、資源物・不燃物収集処理費の委託料41,524千円、職員の人件費26,907千円等となっています。

○ 可燃物ごみ収集状況

(9月30日現在 単位：t)

区分 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
茅野市 (内委託収集)	1,354 (734)	1,504 (795)	1,521 (812)	1,635 (852)	1,899 (967)	1,621 (864)	9,534 (5,025)
富士見町	259	280	284	309	356	308	1,795
原 村	127	141	142	149	180	157	896

○ 年度別可燃ごみ収集状況

(茅野市分 単位：t)

年 度	平成24年度		平成25年度		26年度		27年度
	4~9月	年 間	4~9月	年 間	4~9月	年 間	4~9月
全 体	9,615	17,668	9,718	17,677	9,692	17,627	9,534
内委託 収集	5,188	9,557	5,139	9,372	5,124	9,379	5,025

○ 資源・不燃ごみ処理状況

(単位：kg)

区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
古紙類	1,744,460	1,786,240	1,731,270	1,459,600	1,281,810	508,060
金属類	170,610	158,620	155,550	149,500	150,010	71,880
びん類	235,560	210,030	199,560	196,970	192,630	101,000
その他プラ	197,030	197,030	179,400	173,520	171,870	86,540
その他	128,050	187,050	110,830	113,860	101,030	51,676
粗 大	139,100	118,660	139,870	143,390	151,350	91,190
小 計	2,614,810	2,603,070	2,516,480	2,236,840	2,048,700	910,346
埋 立	126,230	125,400	129,420	118,410	120,300	67,420
合 計	2,741,040	2,728,470	2,645,900	2,355,250	2,169,000	977,766

※ 平成27年度は9月末現在

- 美サイクルセンターで所掌している業務内容は廃棄物業務、諏訪南清掃センターに係る業務を兼務し、一般廃棄物についての一体的な行政事務を行っており広範囲にわたっていますので、取り組みには時間が必要となります。古紙回収量については、民間収集が増えているため年々減少しています。ごみの課題も、減量化や有料化など多様化し、山積しています。ごみの減量化に向け3R（発生抑制・再使用・再生利用）の推進をし、循環型社会の形成に努めるとともに、適正なごみ処理体制の確保と廃棄物不法投棄防止等により市民生活の良好な維持を図られたい。

### 危機管理室消防課について

- 予算の執行状況  
歳入の予算現額は23,571千円に対して収入済額は22,118千円で、収入歩合は93.8%でした。収入済額の主なものは、消防団員退職報償金基金繰入金となっています。  
歳出の予算現額は698,398千円に対して支出済額は332,319千円で執行率は47.6%でした。支出済額の主なものは、諏訪広域連合の消防特別会計茅野消防署費への負担金等となっています。
- 火災の発生状況（参考）  
平成27年4月から9月までの火災発生件数は12件で、内訳は建物が2件、車両が4件、その他が6件でした。建物火災2件は焼損棟数が2棟で、内訳は全焼が1棟、ぼや1棟でした。死者、負傷者はなく、1世帯5人が罹災しています。  
昨年同期の火災発生件数は18件あり、今年度の火災発生件数は6件減少しています。
- 市民の生命財産を守る重要な役割を担っており、引き続き、業務の遂行に努められるよう望むものです。  
特に高齢化率の増加に伴い、独居高齢者や高齢者のみの世帯が増加してきており、消防団及び福祉関係諸団体等と連携、協力して、その世帯の把握と災害時における対応の指導等に、引き続き努めていただくようお願いするものです。
- 平成27年4月から消防体制の充実強化を図り、諏訪地域住民の安全安心を確保することを目的とした消防本部体制として、一元化され諏訪広域化がされたわけですが、市民にとって、従来以上の機能が発揮できるように努めていただきたい。また、市消防団・地区分団及び各部消防団との連携がスムーズにいくよう、リーダーシップを発揮されることを期待します。
- 消防団員の確保に苦慮されている地区等があると聞いていますが、今後、地域の単位消防団の設立等について、検討していく時期に来ているのではないかと考えます。